

妙安寺だより 333

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

横須賀紀行 ①

無人島・猿島散策

毎年開催されている「若草会(20年前の日蓮宗新聞社社長・編集部長を中心に新聞編集員・通信員がメンバー)」は、毎年1月6日・7日に開かれていました。(全国の七草粥を食べる目的もありました)今回は、3月26日・27日に横須賀で開催され、娘(カバン持ちとして)と一緒に参加しました。

昨年開催される予定でしたが、「東日本大震災」で中止になり、今年改めて開かれました。

26日は、軍港めぐり(時間の関係で不参加)。

27日は、軍の要塞としても利用されていた猿島を散策。

〔猿島〕



1253年(建長5年)5月、日蓮聖人が房総から鎌倉へ渡る途中、嵐に遭い、船の進む方向さえもわからなくなった時、どこからともなく一匹の白猿が現れ、船のへさきに立ち島へ案内したという言い伝えから「猿島」という名がついたとされています。猿島まで船で約10分程で猿島に着き、島内を散策。明治初期に要塞として建造物で、最大の規模であった。



木道で、両サイドには、弾薬庫・兵舎等

さらに、日本で2番目に古い歴史を持つフランス積みレンガのアーチ造りの洋式トンネルを過ぎ、島内のヨネノ根に、階段を60mほど下ったところに、日蓮洞窟(弥生人が住居やお墓として利用していたと考えられている洞窟で、日蓮聖人の名にちなんで付けられた洞窟)

がありますが、惜しいことには案内板もいわれも何もありません。約1時間ほどの散策を終え、三笠

棧橋へ戻りました。

〔写真説明〕①左上・猿島の全景 ②左下・日蓮洞窟 ③右・日蓮洞窟の

入り口

